

フクシマの1年 チェルノブイリの26年

講師 森住卓

福島第一原発の事故直後から取材を開始し、放射能汚染地ではふるさとを奪われ、家族や友人をバラバラにされた人々の暮らしを見つめてきた。世界の核汚染を見つめ続けてきた私は福島の汚染地帯は、もう、人が住めないかも知れないという思いが強かった。三〇キロ圏外の汚染地帯に生きる人々はここで暮らしても安全なのか?と問いかけてきた。私は本当の事を言えなかった。

(写真: 森住 卓) 捨てられ続けた牛乳は脂肪が固まり畑にしみ込まなくなった。



森住 卓 MORIZUMI TAKASHI
フォトジャーナリスト

米軍基地や環境問題をテーマに取材活動を開始。1988年に日本ジャーナリスト会議奨励賞を受賞。1994年より世界の核汚染地域を取材。チェルノブイリやイラクなど世界20カ国の核被害をレポート。2011年の東日本大震災と原発事故の際も福島入りし、放射線量の高い地域で現在も精力的に取材活動をしている。最新刊「福島第一原発 風下の村」「新版 セミパラチンスク-草原の民・核の爪痕」

日時

2012年8月31日(金)
18時30分～21時

(18時開場・受付開始)

場所

名古屋市公会堂4階ホール

(地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車4番出口 徒歩2分)

参加費

500円(会員300円)
高校生以下無料
予約不要

主催：つるま法律倶楽部

問合先：鶴舞総合法律事務所・小野万里子法律事務所
(052)852-1220 (052)852-1336
昭和区御器所通三丁目18番地 エスティプラザ御器所4階
地下鉄「御器所駅」2番出口東へ徒歩2分